表1

age	年	life event	高い	低い
24	1985	テレビ制作の道に入るがAD生活は苦難の連続、でも学びの日々だった。	●	
25	1986			●
26	1987			●
27	1988	初めてTVディレクターとして独り立ち。仕事を任される喜びを知る。	●	
28	1989		●	
29	1990		●	
30	1991		●	
31	1992	結婚。大きな人生の転機となった。	●	
32	1993	念願の番組も担当し充実した日々。	●	
33	1994		●	
34	1995	長男を授かり、本当の家族の喜びを知る。	●	
35	1996	育児休暇取得するも社内で理解を得られず番組制作現場を外され、TV界未開拓のデジタルへ異動。		●
36	1997	これまでとは別人種のデジタル人脈が面白くなってきた。		●
37	1998	国連開発計画（UNDP)公式カメラマンとして発展途上国撮影活動開始。この後10年で10カ国を巡る本業外活動を始める。		●
38	1999			●
39	2000			●
40	2001			●
41	2002			●
42	2003			●
43	2004	展覧会、舞台芸術などイベント・プロデュースの現場へ。		●
44	2005		●	
45	2006		●	
46	2007	プロ野球ビジネスと球団広報を担うが、チームは最下位、何をやってもうまくいかない苦難の日々。		●
47	2008			●
48	2009	TV宣伝＆マーケティングと若手制作者の応援に回る立場に。		●
49	2010			●
50	2011	親戚知人が多数東日本大震災で被災、幾度も訪れ、東北との縁が深まったことが人生の喜びにつながっていく。	●	
51	2012		●	
52	2013	サラリーマンやりつつ、ボランティア活動として映画撮影開始	●	
53	2014	ボランティア活動で新しい地平が開けていく予感。	●	
54	2015		●	
55	2016	TBSを早期退職、起業、先の見えない映画監督業へ踏み出す。		●
56	2017	映画完成に向けて没頭。公開への不安が心を占めていた。		●
57	2018	映画「シンプルギフト」公開実現、全国の映画館を巡る。	●	
58	2019	体調を崩し激ヤセ。		●
59	2020	人生にはまさかの坂が！二度目の転職、公募で富山県氷見市副市長就任。	●	
60	2021		●	
61	2022		●	
62	2023	このまちに必要な存在になれている実感が幸福感を呼ぶ。	●	